

小学校外国語活動・英語の取り組み紹介

富士見町は平成24年度から小学校外国語活動・英語の授業をNLT（英語を母国語とする外国人教師）の担当時間を増やして、本格的に英語教育に取り組み始めました。町内全ての小学校で、1年生から4年生は年間17時間、既に必修化されている5・6年生は年間35時間の授業を実施しています。また、中学校でも学習指導要領の改訂に伴い、授業時数、教科書の内容ともに増加しています。

主な活動内容

- 春期教員研修会（町内全小学校の教職員対象）
- 夏期教員研修会（町内全小学校の教職員対象）
- 富士見町英語合同研究会（富士見小学校）
- インターナショナルデイ（町内全小中学校）
- 各学期1回の「訪問研修」実施（町内全小学校）

インターナショナルデイの感想（児童生徒から）

- サインがもらえてうれしかった。（小1）
- 最初は、インターナショナルデイはいやだなと思っていたけど、やってみたらすごく楽しかった。（小2）
- いろいろな国の方が何となくわかった。もっと英語を知りたい。（小3）
- 時間が限られていたので、もっと外国のことを知りたい。（小4）
- 英語が分からぬ所があったから、もっと勉強したい。（小5）
- 外国に行って、外国人の人と話したい。（小6）
- なるべく英語を使って先生たちと話すようにした。（小6）
- 日本人の先生でも発音がとても良くて、自分もあんな風になりたいと思った。（中学）
- Excuse me.など、今まで習った言葉が意外とたくさん出てきたのが印象的だった。（中学）
- 自分の英語が通じたときは感動した。（中学）

※インターナショナルデイとは、学校に数多くの外国人の先生を招き出身国の話や英語で話したり、ゲームしたりする中で、英語を使うという体験をする日です。

授業参観の感想（保護者から）

- 盛りだくさんの内容に驚いた。
- 子どもたちが、とても楽しそうなのが何より印象的だった。
- 活気のある授業で、子どもたちも楽しそうな様子で良かった。
- 小さなうちからネイティブの英語を耳にできる環境をうらやましく思う。



▲中学校インターナショナルデイの様子

平成25年度 教育未来会議「エデュ・Café」

平成24年11月から開催している教育未来会議「エデュ・Café」は、平成25年度も引き続き開催する予定です。町内各地区を回り、保護者の皆さん、地域の多くの皆さんから様々な声を聞く機会を設けたいと考えています。今後より多くの方に参加していただけるよう開催日時を決めていきます。詳細はあらためてお知らせします。子育て、学校教育、生涯学習についてなど何でも結構です。お気軽にご参加ください。

移動教育委員会の開催日程

平成25年度は5月、6月の教育委員会定例会の会場を役場から移動して開催する予定です。傍聴大歓迎ですのでお気軽にお越しください。詳細は後日お知らせします。

教育委員会だより



第
87
号

平成25年3月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp



▲小学校の授業風景

定例教育委員会

3月8日（金）
午後1時30分より
役場2階
教育長応接室
傍聴歓迎！

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8:30～午後5:15
☎62-9233
家庭・教育相談員
(鈴木)



教育未来会議「エデュ・Café」報告

1月22日の先達公民館で開催された教育未来会議「エデュ・Café」内容をご紹介します。

「なるには教育」*

- なるには教育は良い活動。大人と触れ合うことで社会の交流ができる。富士見に多い農業や精密も必要ではないか。今後の活動は。

[回答] 富士見中学校長から中学1年の授業としてやりたいとオファーがあった。

*「教育の町」富士見として、中学生が夢について真剣に考える機会を作るため、町出身の講師が中学生との交流の中で、将来の夢を持つきっかけとなったことを語る「なるには教育」を開催しました。

勉強、受験

- 中学受験をすすめるのは迷う。
- 家庭でどこまですすればいいか。家事の手伝いもしてほしい。

無料塾

- 無料塾は底上げか、中学の補習か。

[回答] 英語ではハイレベルも目指す。高校でドロップアウトしないため。学校の後方支援と位置付けている。

- 教育の場は中学であるのに学校の外で行うのか。

[回答] 学校の先生に負担をかけないため。富士見町では無料塾を手伝わされるという不安の排除。

スクールバス、電車通学

- 中学スクールバス運行時間を早めてほしい。到着が遅く提出物が出せない場合がある。

[回答] 検討する。

- 電車が遅れた時の連絡網を徹底してほしい。

連載

④

「教育の町」豊後高田市視察記

教育委員会事務局の充実

教育委員会事務局が学校を全面的に指導・助言できる体制が充実している。教育長、学校教育課長も現場上がり。2名の指導主事を市費で独自に配置し、小・中学校を巡回指導している。職員も多い。現場に精通している指導主事は必須である。

教職員の熱意

「学びの21世紀塾」などの施策を行うことができる背景には、①市方針と現場がしっかりとつながっていること。②教育委員会とスクラムを組むことが学校現場でできていて、相互補完、相乗効果の関係にあること。教育委員会が校長を本気にさせられるか。教職員が校長の熱意をどの程度感じて動くのかが重要だと思う。

教育委員会・学校方針に納得できない教員は一年で異動してもらうこともある。中には、教育長の権限で在職期間が長い人もいる。校長が学校運営をやりやすいように人事を工夫している。

教職員研修も独自に行っている。43歳以上を対象にミドルリーダー研修を月1回、講師は教頭。管理職希望者を対象にマネジメント講座を週1回、講師は校長。信濃教育会、諏訪教育会のような組織はない。

「学びの21世紀塾」に参加している現役の先生はいない。部活動は自由にやってもらっているが、同じように学習担当を置いている。高田中学校の職員室の前の廊下に15台ほどの自習机を置いている。

総じて「豊後高田の教育委員会、教職員の熱意は他の市町村に比べてかなり高い」と河野教育長は語った。

(教育長・小林洋文)

富士見町スポーツ少年団 平成25年度新規団員募集

町スポーツ少年団では、平成25年度新規団員を募集しています。入団を考えている方、興味のある方はお気軽にお連絡ください。

【種目】 剣道・野球・バレーボール・サッカー・空手・バトントワラーグラム

【対象】 小学生 ※小学生以外についてはご相談ください

問 スポーツ少年団事務局(町民センター内) ☎62-2400



スポーツ少年団 結団式の様子

3月17日(第3日曜日)
は家庭の日

良い新学期を迎えるよう、家族で年度末を充実させ、新年度の準備をしましょう。

編 集 後 記

平成25年度も「教育の町」づくりのために様々な取り組みを行いますので、ご協力よろしくお願いします。(Y)

